



ビールもすすむビアガーデン

8月8日から9日まで、にぎわいまつり&ビアガーデン（洞爺湖町商工会青年部主

催）と第12回ふれいあい七夕夏まつり（虻田3区自治会主催）が、JR洞爺駅前大通り特設会場で開催されました。

宮城県仙台市の七夕飾りを16基展示した大通り会場では、焼き鳥やホタテ焼きなどが出店し、仕事帰りの多くの町民らが立ち寄り、ジョッキを重ねていました。

翌日には、スイカ割り、子どもお宝プレゼントなど楽しいアトラクションが行われ、最後に、総額10万円の旅行券などが当たる大抽選会があり、大いに盛り上がりました。

暑さ楽しむビアガーデン 洞爺駅前大通りで夏まつり

胆振西部救難所訓練大会 虻田が心肺蘇生法で1位

救難の技術向上を目指して、8月22日胆振西部5救難所合同訓練大会が、母と子の館体育館で開かれました。

虻田、室蘭、伊達、有珠、豊浦の各救難所から約140人が参加しました。当初、虻田漁港大磯分港で、ゴムボート操法、救命索発射器操法などの競技を予定していましたが、雨のため中止となり、同体育館で心肺蘇生救急法のみ競技となりました。

競技では3人1組で、マネキンを使って救命の方法を手順どおり行い、意識の確認や腸骨の押し方の正しさなどを



心肺蘇生を行う虻田救難所員

海上保安部の職員が審査しました。結果虻田救難所が1位となりました。

観光客へのおもてなし 虻高生手湯、足湯清掃

虻田高校（阿部孝志校長）の生徒が、8月22日毎年恒例となっている町内清掃を行いました。

参加したのは、商業科の2、3年生41人で、3年生はJR洞爺駅、2年生は洞爺湖温泉街でゴミ拾いなどを行い、環境美化に一役買いました。

虻田高校で、観光の科目があり、清掃活動をして町の観光について考えようと実施。

当日は、あいにくの雨でしたが、温泉街を担当した2年生らは、2班に分かれ、湖畔のゴミ拾い行い、「洞龍の足湯」



足湯をブラシで磨く虻高生たち

「足湯ポケットワーク」「長寿と幸せの手湯」をブラシなどで磨き上げました。



第1種目の水泳に挑む選手たち

8月24日昨年に引き続きトライアスロンの国際大会「アイアンマン

ジャパン北海道」（同実行委員会主催）が、洞爺湖温泉を発着点に開催され、国内外から約1,200人が過酷なレースに挑みました。

朝6時にスタートした選手らは、洞爺湖で3.8^{km}を泳ぎ、引き続き、西胆振3町と後志6町村にまたがる180.2^{km}のコースを自転車で快走し、最後に洞爺湖畔42.2^{km}を走り切りました。温泉街には、多くの人たちが集まり、一人ひとりの選手に「頑張れ！」と声援を送っていました。

トップはドイツ人のマイケル・ルーンツ（28歳）さんで、8時間53分49秒でした。

鉄人たちに声援響く アイアンマンジャパン北海道大会



まちのわだい